

特集 働き方改革の実践

新東名6車線化工事事務所でのダイバーシティへの取り組み

建設業界は他産業に比べ労働時間が長いという理由等から、若年層に敬遠される業界のひとつとなり、これにより従事者の高齢化や慢性的な人手不足が生じています。まさに「働き方」について見直しを迫られている状況にあります。そのような中、当工事事務所ではダイバーシティ人材を活用した働き方改革に取り組んでいます。土木工事の現場事務所としては女性の比率も高く(24人中10人が女性)、外国籍の女性土木技術者など多様な人材を活用しています。その中で働き方改革を推進するために、誰もが働きやすい魅力的な職場づくりや異なるバックグラウンドを持つ従業員同士のコミュニケーションの円滑化、現場の書類作成業務の分業による時間外労働の削減に重点的に取り組んでいます。



アスファルト舗装の様子

多様な人材が働きやすくなる工夫

外国籍や子育て中の短時間勤務者といった様々なバックグラウンドを持ち、年齢層も幅広いことから、従事者同士のコミュニケーションを深めるために、定期的にボランティア活動やレク

リエーションを実施しています。このような取り組みを行うことにより、国籍・性別・年齢を問わず、全員が意見を言い合える風通しの良い職場づくりにつながっています。



清掃活動の様子

VOICE 外国籍社員の声

私はミャンマー出身のウィンと申します。私は、日本の道路や橋梁等の建設技術を学びたいと考え、2019年3月より新東名6車線化工事事務所働き始めました。

この事務所に勤務してからは施工管理補助として現場で技術を学び、分からないことがあれば先輩や他の従業員と協力し問題解決に努めてきました。仕事に慣れてきてからは難しい業務にも挑戦し経験を積みました。その結果、事務所では書類作成業務のサポートをこなし、現場では上司・先輩の指示のもと安全に気をつけながら業務をこなせるようになりました。道路・交通は世界中で必要不可欠なものなので、この現場でたくさんのことを学び、将来は道路工事現場を支えられるような舗装エンジニアになりたいと思っています。



新東名6車線化工事事務所
ミャンマー国籍 工事担当
WIN THIRI AUNG
(ウィン・ティリ・アウン)

短時間勤務者の採用による仕事の効率化

現場担当者の残業時間の中で最も多いのが書類作成業務です。これを派遣社員や短時間勤務者を活用し分業することで、時間外労働の削減に取り組んでいます。具体的には、現場担当者がタブレット端末を携帯することにより、事務所内のPCとの間でリアルタイムに情報共有を行うことを可能とし、出来形*や品質のデータをやりとりできる環境を整備しました。これにより現場担当者が現場に従事している間、派遣社員や短時間勤務者が事務所内で現場の管理書類を作成、現場担当者は作成された書類の確認を行うという流れを構築できました。これらの分業により、時間外が削減されたほかに、担当業務をひとりで抱え込むということが少なくなり、結果として休暇を取得しやすくなる効果も表れています。

*出来形とは、工事施工が完了した部分のこと。

VOICE 短時間勤務社員の声

私は2019年3月より新東名6車線化工事事務所地域契約社員として働いています。週に4日、9時から15時までの時短勤務をしており工務を担当しています。仕事内容は manifests の作成・処理や産業廃棄物契約書作成などが主です。1日5時間の時短勤務で働くことで、仕事と家庭のバランスを取りながら働くことができています。事務所内には私の他に子育て中の時短勤務者が2名いるため、お互いの業務を共有し合い定時に仕事を終えやすい協力体制ができています。時短勤務という労働環境が整っていることから、小さな子どもがいても社会の一員として働くことができ、専門的な仕事に携われることにやりがいを感じています。

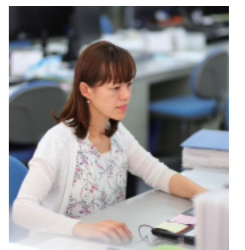


新東名6車線化工事事務所
工務事務員
喜田 里香

喜田さんの一日(働き方)

09:00 出社 メールチェックと書類の整理
業者さんからの問い合わせメールに返信をしたり、前日現場で使用した書類の内容を確認しファイリングやスキャンをしたりします。

09:30 マニフェストの作成と処理
前日に使用したマニフェストの内容確定や削除などの処理を行います。また、マニフェストの集計に使うデータの入力を行います。



11:00 産業廃棄物契約書の作成準備
産業廃棄物契約書の作成内容について協力業者と電話で確認をしたり、支店に問い合わせをしたりします。

12:00 女性スタッフたちと事務所でランチ
おいしいお店や家事のことなど情報交換しながら毎日ランチを楽しんでいます。

13:00 現場社員と翌日の作業の確認とマニフェストの準備
翌日使用するダンプの台数の確認をし、マニフェストや書類の作成をします。



14:00 データの入力や書類の作成
残土排出などのデータの入力や産業廃棄物契約書の作成の続きを行います。

15:00 終業
終業後子どものお迎えに行きます。お迎え後は自宅の家庭菜園に水をあげたり、子どもと工作をしたりして夕食までの時間を楽しみます。



Topics 吉川社長、現場に赴き職員と意見交換

吉川芳和社長は2020年2月6日、新東名6車線化工事事務所を訪問し、同事務所の職員らと働き方改革や女性活躍推進、建設業における担い手不足への対応などについて意見交換会を開きました。

現在、同事務所は日本が抱える若年層減少による技術者不足に対する方策として外国人技術者を受け入れているほか、短時間勤務者を多数採用することで現場技術者の残業時間で最も多い割合を占める書類作成業務を分担し、時間外労働の削減に成果を得ています。

意見交換会后、吉川社長は「ダイバーシティ人材の活躍で働き方改革を推進し、魅力ある建設現場を構築するモデル事務所になってほしい」と講評しました。



意見交換会の様子